

# 市原悦子さん、梅原猛さん 逝く

## お二人の想いを受け継いで

### 「戦争しない国＝日本」を守り抜きたい

文責・HN【オニヤンマ】

◆今年1月12日に、先の戦争を経験し、「戦争する国になってはいけない」という思いを語られた著名人お二人が亡くなりました。生前は要所で「反戦」「反原発」のメッセージを発信し、戦前回帰を志向する安倍政権に警鐘を鳴らして来られました。

◆「まんが日本昔ばなし」の語り手として、またテレビドラマで活躍された市原悦子さん。82歳でした。「千葉市で暮らしていた戦時中、家の近くに爆弾が落ちました。四つ上の兄が見に行くと建物の壁に人の肉片が飛び散っていました」、「集団的自衛権を使うことが認められましたね。『自衛』とか『戦争の抑止力』とか信じられない。原発事故への対応もあやふやなまま、国は原発を輸出しようとしている。被爆者、水俣病患者を国は救済しましたか？『国民の命と財産を守る』と言っても空々しい。先の戦争で犠牲になった300万人の方々がどんな思いで死んでいったか。戦争によって人の心に何が起こったか。それを知れば、私たちがこの先どうすべきか見えてくると思います」と話されていました。



『国民の命と財産を守る』と言っても空々しい

◆日本古代史で独創的な理論を発展させ、「知の巨人」と呼ばれた梅原猛さん。93歳でした。「16歳の時に太平洋戦争が始まり、常に死を意識せざるを得ない青春時代を過ごした。勤労奉仕先の名古屋の工場で空襲に遭った時には、弾が命中した防空壕に入っていなかったため、九死に一生を得た。だが、共に働いた多くの学生が死亡した」、「(2004年、毎日新聞に、大江健三郎さんや澤地久枝さん達と共に九条の会の発起人に名前をつらねたことについて問われ) 政治の流れがうんと右に行っているので、歯止めとして9条を守る必要がある」という意思表示をしたかった。私は日本の憲法や9条には国家絶対主義を克服する『超近代』の理想が



平和の伝統を日本は守っていかねばならない

含まれていると思う」、「平和の伝統を日本は守っていかねばならない」と語り、自衛隊の海外派遣にも反対されていました。

◆昨年6月18日に加藤剛さん、7月2日に桂歌丸さんと、あの戦争を体験された方々が次々と旅立たれます。「二度と戦争をしてはいけない」という遺志を私たちは受け継いで行きます。

NO. 143 (2019年1月24日)

# 放射能は安全？

～文科省の「小・中・高校生のための放射線副読本」の読み方～

HN **[MM]** さんからの投稿です

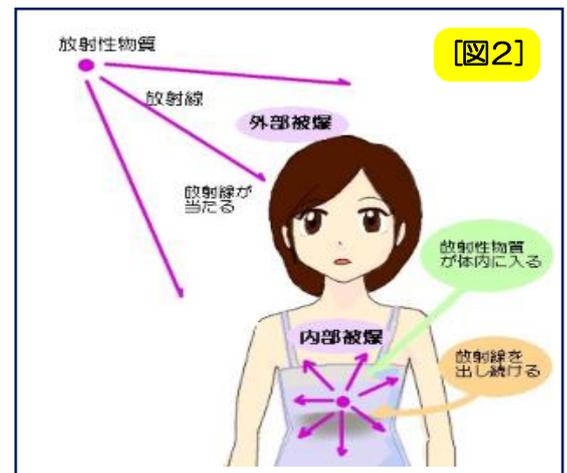
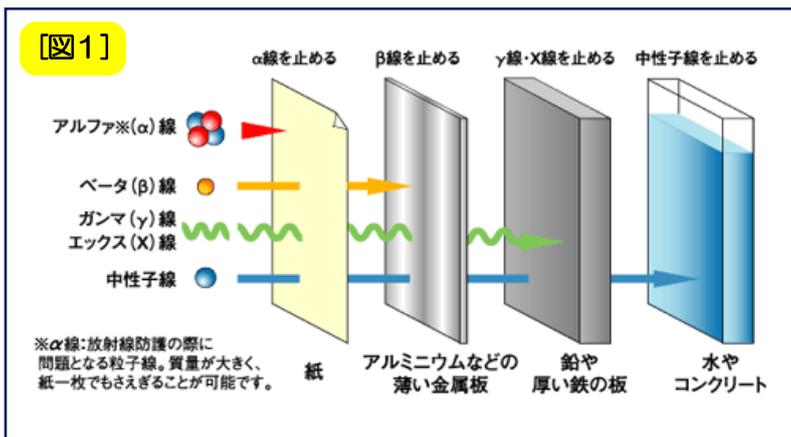
危険なものを安全だと  
子どもにウソ教えたら  
ダメにゃん！



昨年の10月に文科省は、各学校で配布する放射線副読本を再改訂しましたが(初版は2011年11月)、その内容は、もっぱら放射線そのものへの説明だけとなっています。福島原発事故で放出された放射性物質(以下、「放射能」と呼びます)については、ほとんど説明していません。ここでは福島事故以降、東日本に広くばらまかれた人工放射能(セシウム137が代表的)についても理解して頂けるように、書きました。

▼放射能には、自然放射能と人工放射能があります。放射能から出る放射線は、自然も人工も同じですが、放射能は異なります。自然放射能は、地球が出来てからずっと存在しており、その環境下で生物は発生し進化しました。代表的なのがラジウムやカリウム40です。人工放射能は、わずか70数年前に人の手によって地球上に現れました。代表的なのが、セシウム137やストロンチウム90ですが、その毒性や影響は、十分はわかっていません。

▼中高用の6ページにある[図1]は各放射線の透過する強さを表していますが、これは外部被ばくの説明です。[図2]にある内部被ばくでは、外部被ばくとは逆になり、透過度が低いとそのエネルギーがすべて体内に留まるのでダメージが大きくなります。



▼副読本では、放射線の医療への応用が述べられていますが、病気を発見するための医療用放射線と汚染としての放射線を同列に論じるのは、おかしいことです。又、日本の医療放射線の使用量は8ページにあるように世界平均の6倍以上あります。

放射線被ばくの早見図(11ページ)中、100mSv部分でガン死亡のリスクが徐々に増えると記載しています。放射線のガンのリスクは、100mSvでなく、少しでもあれば線量とともに増える事が、科学的に広く正しいとされています。

放射線による健康への影響(10ページ)の項目には、既に200人以上の小児甲状腺ガンが発生していると福島県県民健康調査検討委員会で報告されていますが、それが記載されていません。

▼食品の放射能の限量が、日本より外国の方がはるかにゆるいとの記述がありますが、外国の場合は事故時の非常事態での値であって、平常時ではありません。日本での食品100ベクレルの値は、法律で100ベクレル以上ある物質は、福島以外では放射性廃棄物として処理されなければいけない基準です。

政府は、原発が安全だと言ってきましたが、福島原発事故が発生し、もうそう言えなくなったので、今度は放射能は安全だと言い始めています。事故が起こる事を前提にして、原発を稼働させているのでしょう。